iCrossway2 ユーザーマニュアル

第1.4版

◆ ドキュメント改版履歴

版数	規定日	修正内容	備考
1.0	2015年1月	1.0 版	
1.1	2015年6月	ミュート、スピーカー、自動起動機能の追加による修正	
1.2	2015 年 11 月		
1.3	2016年7月	バックグラウンド・パーミッションの許可画面追記	
1.4	2017年4月	社名変更	

目 次

1章	はじめに	. 1
1.1	本ドキュメントの位置付け	1
1.2	参照するドキュメント	1
1.3	概要	2
1.3	3.1 iCrossway2 とは	2
1.3	3.2 iCrossway2の主な機能	2
2章	用語集	. 3
3章	初期設定	. 4
3.1	初期設定手順	4
3.2	インストール	5
3.3	バックグラウンド接続・パーミッション許可	6
3.4	ログイン	7
3.5	アカウント新規作成	10
3.6	動作の設定	.11
3.7	ダイアルプラン設定	12
3.8	通話確認	13
3.8	.1 内線への発信	13
3.8	3.2 外線への発信	15
4章	基本操作	17
4 章 4.1	基本操作	17 17
4章 4.1 4.1	基本操作 アプリケーションの起動・終了 .1 起動	17 17 17
4章 4.1 4.1 4.1	基本操作 アプリケーションの起動・終了 .1 起動	17 17 17 18
4章 4.1 4.1 4.1 4.2	基本操作	17 17 17 18 19
4章 4.1 4.1 4.2 4.2	基本操作	17 17 18 19 19
4章 4.1 4.1 4.2 4.2 4.2	基本操作	17 17 18 19 19 21
4章 4.1 4.1 4.2 4.2 4.2 4.2	基本操作	17 17 18 19 19 21 21
4章 4.1 4.1 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2	基本操作	17 17 18 19 21 21 23
4章 4.1 4.1 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2	基本操作	17 17 18 19 21 21 23 25
4章 4.1 4.1 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2	基本操作	17 17 18 19 21 21 23 25 26
4章 4.1 4.1 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2	基本操作	17 17 18 19 21 21 23 25 26 27
4章 4.1 4.1 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 5章	基本操作	17 17 18 19 21 21 23 25 26 27 29
4章 4.1 4.1 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 5章 5.1	基本操作	17 17 18 19 21 21 23 25 26 27 29
4章 4.1 4.1 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 5章 5.1 5.2	基本操作	17 17 18 19 21 21 23 25 26 27 29 31
4章 4.1 4.1 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 5 5.1 5.2 6 6	基本操作	17 17 18 19 21 23 25 26 27 29 31 32
4章 4.1 4.1 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 4.2 5 5.1 5.2 6 6.1	基本操作	 17 17 18 19 21 21 225 26 27 29 31 32 32

6.3	連絡先からの発信方法	
6.4	履歴からの発信方法	35
6.5	連絡先への登録方法	
6.6	通話中の操作方法	
6.6.1	ミュート	
6.6.2	2 キー入力	
6.6.3	3 スピーカー	40
6.6.4	4 保留	41
6.6.5	5 転送	
6.6.5	·□ .1 応答後転送	
6.6.5	.2 呼出状態転送	44
6.6.5	.3 応答後転送のキャンセル	44
6.6.5	.4 応答後転送のキャンセル(第二呼着側の着信拒否)	45
6.7	着信方法	46
6.8	コールバック発信の操作方法	
6.8.1	丨 概要	
6.8.2	2 設定	
6.8.4	4 ダイアルパッドからの発信	
6.8.5	5 連絡先からの発信	
6.8.6	5 履歴からの発信	
7章	ヘルプ	
	0	
7.1	ヘルプ	
7.2	アフリについて	54
8章。	よくあるトラブルと対処法	55
9章 注	注意事項	

1章 はじめに

1.1 本ドキュメントの位置付け

本ドキュメントは、モバイル内線アダプタ(以下、「本システム」)用 VoIP クライアントアプリケーションである iCrossway2の使用方法について記述したものです。

1.2 参照するドキュメント

本ドキュメントの記述範囲外のコンポーネント、関連製品等の仕様については、以下のドキュメントを参照してください。

No.	ドキュメント名	備考
1	モバイル内線アダプタ工事保守マニュアル	工事者が初期設定を行う際に参照してください。

1.3 概要

1.3.1 iCrossway2とは

iCrossway2は、モバイル内線アダプタ専用のスマートフォン用 SIP クライアントです。インターネットにアクセスでき る環境下なら、どこでもスマートフォンを社内のビジネスフォン(αNX システム、BX II システム)の子機として使用す ることができます。同じビジネスフォンの子機との間では内線番号で通話が可能であり、外線に発信する際は、主装置 に登録しているオフィスの電話番号を使って発信できます。主装置にダイアルインの設定をすれば、オフィスの電話 番号にかかってきた電話をスマートフォンに着信させることもできます。

iCrossway2 は、モバイル内線アダプタの工事の際に、システムで使用するスマートフォンに工事者がインストールします。アカウントを作成後、動作確認を行ってユーザーに提供します。

1.3.2 iCrossway2の主な機能

```
発信
着信
保留
転送(応答前転送には対応しない)
音声コーデック(SILK)
端末標準電話帳参照
個別着信音設定
通話履歴(発信、着信、不在着信)
プレフィックス
DTMF 送信機能(SIP INFO)
コールバック発信
ミュート機能
スピーカー機能
```

2章 用語集

本マニュアルの中で使用されている主な用語について説明します。

① SIP

Session Initiation Protocolの略称。インターネット電話などで用いられる、通話制御プロトコルです。

2 VolP

インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて音声通話を行う技術の総称です。

③ モバイル内線アダプタ

社外でもスマートフォンをαNXII/αNXの内線端末として使用可能にする装置です。

④ Play Store

Google の提供する Android 向けコンテンツ配信サービスです。

(5) App Store

Appleの iPhone 向けに開発されたサードパーティ製のアプリケーションを配信する専用の配信チャネルです。

⑥ TOS(トス)

Type of Service の略。本システムでは SIP 通信および RTP(音声)通信の優先度を設定します。

3章 初期設定

3.1 初期設定手順

システムの VoIP クライアントをセットアップするための手順を示します。



3.2 インストール

- 1 ブラウザなどを使って、スマートフォンからインターネットに接続できることを確認してください。接続できない場合は、 スマートフォンのネットワーク設定を確認してください。
- 2 Android の場合は「Play Store」、iPhone の場合は「App Store」のアイコンをタップしてください。

Play Store

App Store





3 「検索」メニューで「iCrossway2」と入力し、検索を実行します。



4 検索結果よりiCrosseway2の詳細画面を表示して、画面にしたがってインストールを実施してください。 これでインストールは完了です。

3.3 バックグラウンド接続・パーミッション許可

※この画面は Android 版でのみ表示されます。

iCrossway2 を起動すると下記の画面が表示され、「バックグラウンドでの接続許可」「マイクへのアクセス許可」「連絡先へのアクセス許可」「電話へのアクセス許可」をそれぞれ求められます。なお既に許可されている項目は表示されません。



アクセスを許可しなかった場合は下記の画面が表示され iCrossway2 は終了します。



3.4 ログイン

iCrossway2 を使用するためには、アカウント情報を登録してログインする必要があります。モバイル内線アダプタの 保守画面上に表示されたアカウント情報を iCrossway2 に設定する手順を説明します。

1 3.1 章の手順で iCrossway2 を起動すると、アカウント設定を促す画面が表示されます。「はい」をタップしてください。



2 アカウントの設定には、「ユーザ名」、「パスワード」、「ドメイン」が必要になります。設定内容は、モバイル内線アダプタの保守画面にアクセスし、設定一覧画面で確認できます。画面上に表示されたアカウント情報(端末 ID、端末パスワード)が該当します。

設定情報が不明な場合や、保守画面にアクセスできない場合は、工事担当者までお問い合わせください。

3 アカウント情報を入力します。アカウント情報は端末ごとに異なるので、同じアカウント情報を複数の端末で使わないように注意してください。

設定名	設定名
ユーザ情報	
表示	表示名
ユーザ名	ユーザ名
パスワード	パスワード
ドメイン (ドメイ	ン)

設定項目	設定値	モバイル内線アダプタ 工事保守マニュアル 参照章
設定名	SIP 端末情報設定の「内線番号」	4.3.11章
表示	SIP 端末情報設定の「内線番号」	4.3.11章
ユーザー名	SIP 端末情報設定の「端末 ID」	4.3.11 章
パスワード	SIP 端末情報設定の「端末パスワード」	4.3.11 章
ドメイン	(外部公開アドレス):(SIP サーバポート番号)	4.3.5 章および 4.3.7 章

4 設定が完了したら、画面左上の「<」ボタンを押下してアカウントー覧画面に戻ります。

設定名	クト1前戦 副用 47
ユーザ情報	
表示	47
ユーザ名	47_20000000x
パスワード	•••••
ドメイン 111.22	3.333.444:35791

5 アカウントー覧画面で設定したアカウント情報が表示されていることを確認し、右側のチェックボックスをタップしてチェックを有効にしたのち、「ログイン」ボタンを押下してください。



6 ログインが成功すると、左側のアイコンが灰色から緑色になります。赤色のアイコンが表示された場合はアカウント情報設定が誤っているため再度設定を見直してください。



3.5 アカウント新規作成

モバイル内線アダプタに登録した端末情報を使って、新規のアカウントを作成します。以下に手順と設定するパラメ ーター覧を示します。設定値については、「モバイル内線アダプタ工事保守マニュアル」を参照してください。

1 画面下部タブバーの設定マークをタップし、設定画面を開いてください。



2 「ユーザの設定」をタップすると、アカウントの一覧が表示されます。



3 画面右上部の「+」ボタンを押下し、アカウントを追加してください。

<	ユーザの設定 +
	ロダイン

4 以降は 3.2.7 章のアカウント設定の手順と同様です。

3.6 動作の設定

- 1 設定画面上で、動作の設定をタップして、動作の設定画面を開きます。
- 2 以下の設定値を入力します。

設定項目		設定値	備考
* (着信音		着信音を選択していないとチェックができません。
有信設定	着信音選択	(デフォルト着信音)	端末のデフォルト着信音が設定されます。
	バイブレータ	\square	
コールバック設定	コールバックを使用	□(初期設定)	
	コールバック特番	#*1(初期設定)	
ダイアルプラン設定	次項にて詳細記載	次項にて詳細記載	
	ゆらぎ吸収バッファ値	0	
辛辛ナプシッション	ビットレート	8000	
	Ptime	40	
	ToS 值	0	
			チェックをすると、端末起動時に、自動でア
自動アプリ起動設定		□(初期設定)	プリが起動します。
			(※Android のみ有効な機能です。)

3 コールバック設定は、コールバック発信を使用する場合にチェックをオンにしてください。

4 音声オプション設定は上記の数値を変更しないでください。音声通話ができなくなる可能性があります。

3.7 ダイアルプラン設定

1 動作の設定画面上で「ダイアルプラン設定」をタップして、ダイアルプラン画面を開きます。 ルールは5パターン設定することが可能です。本機能は自動で0発信をする場合などに利用が可能です。

2 設定方法

該当番号の入力方法は、特定の電話番号および、数字、任意の1文字として「*」、任意の文字列(1文字以上)として 「+」が入力可能です。

例1:市外局番から始まる一般電話と携帯電話の両方に適用する場合 「0+」を入力

例2:携帯電話のみに適用する場合 「0*0+」を入力

例3:市外局番から始まる一般電話のみに適用する場合 「0********」(10桁)を入力

追加の項目は通常は0を入力してください。

- ・「ダイアルプランを使用」にチェックをすると、ルールを適用し、自動で該当の「追加」に設定のある数字を自動で付 与し、発信することが可能です。(自動で0発信)
- ・複数のルールに適合する電話番号の場合、上位にあるルールが優先的に適用されます。

3.8 通話確認

アカウントの登録が成功したら、通話確認をします。

3.8.1 内線への発信

ここでは、一例として内線 40 の標準 IP 電話機へ発信する手順を説明します。

1 タブバーの「電話ボタン」をタップして通話画面を開きます。



2 画面上に表示されるダイアルパッドで「40」とタップします。



3 「発信」ボタンをタップします。



4 内線40に発信します。両側で音声が正常に聞こえることを確認してください。



3.8.2 外線への発信

ここでは、一例として外線番号『03-1111-2222』へ発信する手順を説明します。

1 タブバーの「電話ボタン」をタップして通話画面を開きます。



2 画面上に表示されるダイアルパッドで「00311112222」とタップします。

(デフォルト設定では、外線へは0発信となります。ダイアルプランに0発信を設定すると、先頭に0をつけずに発信できます。設定方法は、「ダイアルプラン設定」を参照してください。)



3 「発信」ボタンをタップします。



4 外線 03-1111-2222 に発信します。両側で音声が正常に聞こえることを確認してください。



4章 基本操作

4.1 アプリケーションの起動・終了

4.1.1 起動

以下の手順でアプリケーションを起動します。

1 ホーム画面上またはメニューリストの iCrossway2 のアイコンをタップします。



- 2 iCrossway2 が起動します。
- 3 起動が終了すると、通話画面が表示されます。(バックグラウンドで動作していた場合には、バックグラウンドになる前 の画面が表示されます。)



4.1.2 終了

1 iCrossway2 の起動中の場合はダイアル/履歴/設定画面のいずれかで戻るボタンを押してください。iPhone の場合 は、ホームボタンを2度タップしてください。

※ホームボタンを押しただけではバックグラウンド起動となるだけで、アプリケーションは終了しません。



2 次に、終了ダイアログ画面が表示されるため、「はい」をタップして、アプリケーションを終了してください。



iPhone の場合は、他のアプリケーションと同様に、ホームボタンを2度タップしてアプリケーションのプレビューを表示し、iCrossway2をスワイプして終了させてください。

4.2 画面

4.2.1 基本画面

アプリケーション起動時の表示画面を以下に示します。画面下のタブバーをタップして、通話画面、連絡先画面、 履歴画面、設定画面を開くことができます。



ボタンイメージ	ボタン名	説明
¢	電話ボタン	通話画面を開きます。
		iCrossway2 から発信をする際に開きます。
	連絡先ボタン	連絡先画面を開きます。
		スマートフォン標準の電話帳を開きます。
	履歴ボタン	履歴画面を開きます。
G		履歴画面は通話履歴を表示します。
344	設定ボタン	設定画面を開きます。
7		iCrossway2の設定を行います。

[2017年4月1日版]20

4.2.2 連絡先画面

スマートフォンの標準の電話帳を起動します。

リストから発信したいユーザの電話番号をタップすると、ダイアル画面に電話番号が自動で入力されます。

4.2.3 履歴画面

履歴画面では、通話履歴の一覧を表示します。

発信	着信
00311112222	4/28 14:37
4 0	4/28 14:34
(2	<u>о</u> ф
	NR 87

ボタン	説明		
<u> 秋</u> /=	すべての)発信履歴を表示します。	
光信	C -	応答した着信履歴を表します。	
	すべての	D着信履歴を表示します。	
着信	G	応答した着信履歴を表します。(着信拒否も含む)	
	×	不在着信履歴を表します。	

[2017年4月1日版]22

4.2.4 設定画面



ボタン	説明
ユーザの設定	ユーザの設定画面を表示します。アカウント画面では、アカウントの登録状態の確認と有
	効無効の設定ができます。(3.2.7 章を参照)
	アカウントをタップすると設定変更が可能です。本マニュアルに記載されている設定値以
	外の値を設定すると、通話ができなくなる可能性があります。
動作の設定	iCrossway2 の設定変更ができます。本マニュアルに記載されている設定値以外の値を
	設定すると、通話ができなくなる可能性があります。
ヘルプ	アプリケーションに関する簡単なマニュアルを掲載した pdf ファイル(本マニュアル)を表
	示します。
アプリについて	iCrossway2のバージョン情報などを記載しています。

[2017年4月1日版]24

4.2.5 アカウントの状態

アカウント画面上の表示で、アカウントの登録状態を確認することができます。それぞれの表示の意味を以下の表にまとめます。

表示	説明
0	アカウントの登録中です。
0	アカウントの登録済みです。
8	アカウントが無効になっているため、使用できない状態です。 アカウント登録時は初 期状態でこの表示になっています。
8	アカウントは有効になっていますが、登録に失敗しているため、使用できない状態で す。iCrossway2の設定が間違っている可能性があります。

4.2.6 アカウント削除方法

一度作成したアカウントの削除は、以下の手順で行います。

1 設定画面面において「アカウント」をタップすると、登録したアカウントの一覧が表示されます。

<	ユーザの設定	+
		グアウト
1 47		

2 ログイン中のユーザは削除できないため、「ログアウト」ボタンをタップし、ログオフしてください。



3 アカウントを長押しします。



4 確認のダイアログが表示されるので、「はい」をタップします。(キャンセルする場合は「いいえ」をタップします。)



4.2.7 アカウントの設定変更

1 設定画面において「アカウント」をタップすると、作成したアカウントの一覧が表示されます。



2 変更したいアカウント名の右側のチェックが点灯している場合には、「ログアウト」ボタンをタップして無効化します。

<	ユーザの設定	+	<	ユーザの設定	+
		アウト			グイン
8 4	7		6 47		

3 設定を変更したいアカウント名をタップして、アカウント画面を開きます。



4 2.3の手順3~6を参考にして、設定項目を編集します。(システムの工事者以外は実施しないでください。)

ント情報 逃用
47
47
47_xxxxxxxxxx
•••••
3.333.444:35791

5 設定変更後は、「ログイン」ボタンをタップして、サーバに登録できることを確認します。



ログインはチェックボックスにチェックが入っていないと実施されません。チェックがはいっていない場合はチェックをしたのちに、「ログイン」ボタンをタップしてください。

5章 アカウントの登録・登録解除

iCrossway2 で通話をするには、iCrossway2 のアカウントをサーバに登録する必要があります。この章では、iCrossway2 のアカウントの登録方法、登録解除方法を説明します。

5.1 アカウントの登録方法

1 タブバーの設定ボタンをタップして設定画面を開きます。



2 「ユーザの設定」をタップしてユーザの設定画面を開くと、iCrossway2に作成されているアカウントの一覧が表示されます。



3 登録するアカウントの右側のチェックボックスをタップし、ログインボタンをタップしてください。



4 下図のように表示されれば、登録が完了しています。



5 登録に失敗した場合には小ライレ、それでも成功しない場合は、モバイル内線アダプタ工事保守マニュアル 3.3.1 章 を確認してください。

5.2 アカウントの登録解除方法

1 設定画面上の「ユーザの設定」をタップすると、iCrossway2に作成されているアカウントー覧が表示されます。



2 登録解除したいアカウントの右側のチェックが点灯している状態で「ログアウト」ボタンをタップします。 チェックボックスは、「ログアウト」ボタンをタップしないとはずすことができません。



3 下図のように表示されれば、登録が解除されています。



チェックボックスにチェックが入った状態でアプリケーションを終了させると、次回起動時に自動でログインされます ※ログイン中の状態でアプリケーションを終了させた場合も同様です。

6章 通話

6.1 ダイアルパッドからの発信方法

1 設定画面上の「アカウント」をタップし、iCrossway2 に作成されているアカウント一覧を表示させ、発信するアカウント が登録状態になっていることを確認します。

<	ユーザの設定	+
	ログ	アウト
1 47	,	

2 タブバーの「電話」をタップして、ダイアル画面を表示します。



3 画面上に表示されるダイアルパッドを使って、電話番号を入力します。外線へ発信する場合には、電話番号の先頭 に「0」をつけてください。(0発信)



4 「発信」ボタンをタップすると、発信します。



6.2 通話の終了方法

現在通話中の電話を切る際には、以下の手順で行います。 1 通話中画面において、「切断」をタップします。



2 通話が終了します。

6.3 連絡先からの発信方法

スマートフォンの標準の電話帳が起動され、そこからの発信が可能です。

1 設定画面上の「アカウント」をタップし、iCrossway2 に作成されているアカウント一覧を表示させ、発信するアカウント が登録状態になっていることを確認します。



2 タブバーの連絡先ボタンをタップします。



- 3 スマートフォン標準の電話帳が起動しますので、発信したい連絡先をタップします。 お使いの機種によっては、連絡先アイコンをタップした際に、電話帳を選択する画面が表示されることがあります。 その場合は、お客様にて任意の電話帳を選択してください。 また、表示された電話帳については、すべての機能(検索機能等)がご利用できない可能性があります。
- 4 電話番号をタップすると選択した番号がダイアル画面が表示され、発信が可能になります。
- 5 「発信」ボタンもしくは「コールバック」ボタン(「設定画面」でコールバック設定にチェックされている場合に表示される) にて発信が可能です。

6.4 履歴からの発信方法

1 設定画面上の「アカウント」をタップし、iCrossway2 に作成されているアカウント一覧を表示させ、発信するアカウント が登録状態になっていることを確認します。



2 タブバーの「履歴」をタップして、通話履歴を表示させます。



3 発信したい番号をタップすると、詳細画面が表示されます。



4 電話番号のセルをタップすると発信します。

5

00311112222	
全発信 1/5.11:16 0117	
① ②	icrossway2
5 A D	キャンセル

環境設定にてコールバックを使用する設定をしている場合、上記のようにコールバック発信、通常発信を選択するダイアログが表示されます。「発信」を選択してください。なお上記画面において、①の箇所をタップすると iCrossway2

での発信(内線発信)、2の箇所をタップすると標準の電話アプリでの発信(外線発信)となります。

6.5 連絡先への登録方法

1 タブバーの「履歴」をタップし、通話履歴を表示させます。



2 連絡先へ登録したい番号をタップすると、詳細画面が表示されます。



3 「追加」ボタンをタップし、連絡先登録画面を開きます。登録は標準電話帳への登録となります。登録方法は端末の 操作マニュアルを参照してください。

<	周周	20
R	No Name	
、 発信 4/28 14::	37	
0031111	2222	C

6.6 通話中の操作方法

6.6.1 ミュート

通話中に自身の音声をカットしたい場合に、以下の手順でミュート機能をオンにします。 1 通話中画面で下部のミュートボタンをタップします。



2 ミュート中は、以下のように表示されます。



3 ミュート機能を解除したい場合は、ミュートボタン(解除ボタン)を再度タップします。



6.6.2 キー入力

音声案内サービスの利用時など、通話途中にダイアル入力が必要な場合に、以下の手順でキー入力を行います。1 通話中画面で、下部のキーパッドボタンをタップします。



2 キーパッドが表示されるので、キー入力を行います。



3 通話中画面に戻る場合は、「戻る」ボタンをタップして戻ります。

6.6.3 スピーカー

ハンズフリーで通話をしたい場合などに、以下の手順で相手の音声をスピーカーから出力します。 1 通話中画面で、下部のスピーカーボタンをタップします。



2 スピーカーモードの場合は、以下のように表示されます。



3 スピーカーモードを解除したい場合には、再度スピーカーボタン(解除ボタン)をタップします。



6.6.4 保留

通話を保留する場合、以下の手順で行います。

1 通話中画面で、下部の保留ボタンをタップします。



2 保留中は、以下のように表示されます。



3 保留を解除する場合は、保留解除ボタンをタップします。



6.6.5 転送

6.6.5.1 応答後転送

現在通話中の呼を別の電話(内線・外線)に転送したい場合、転送先との通話が確立した後に転送処理を完了させるには、以下の手順で行います。

1 通話中画面で、下部の保留ボタンをタップし、呼を保留します。



2 保留状態になったら、通話中画面の転送ボタンをタップします。



3 通話の追加画面で、転送先の電話番号を入力し、転送ボタンをタップすると、転送先の電話番号に発信します。



4 転送先との通話が確立したら、「転送する」ボタンをタップします。



5 転送が完了し、ダイアル画面に戻ります。



6.6.5.2 呼出状態転送

呼出状態転送は、システムとして推奨していません。

6.6.5.3 応答後転送のキャンセル

応答後転送において、転送先との通話時に転送をキャンセルして、第一呼との通話状態に戻る場合の手順を説明します。

1 第二呼通話状態において、「転送キャンセル」ボタンをタップします。



- 2 通話中の第二呼は切断され、第一呼との通話状態に戻ります。(自動的に保留解除されます。)
- ※ 第二呼着側から切断した場合、第一呼の保留状態に戻るため、第一呼の保留を解除して通話に戻ってください。

6.6.5.4 応答後転送のキャンセル(第二呼着側の着信拒否)

第二呼着側が、応答前に通話をキャンセルした場合、以下の方法で第一呼の通話状態に戻ります。

1 第二呼着側が着信拒否を行うと、第二呼発側は、以下の画面でBTを聴取するので、「転送キャンセル」ボタンをタップします。



2 第一呼通話状態に戻ります。

6.7 着信方法

iCrossway2 への着信を受ける方法を説明します。iCrossway2 が実行されている必要があります。バックグラウンドでの実行でもかまいません。また、iCrossway2 のアカウントがサーバに登録された状態である必要があります。

1 iCrossway2の起動中に着信すると、着信画面に自動で切り替わります。



2 着信画面で、「開始」ボタンをタップすると、通話が開始します。着信拒否をする場合は、「切断」ボタンをタップしてく ださい。着信拒否をした場合はダイアル画面に遷移します。



3 バックグラウンドで iCrossway2 を起動している場合に着信すると、iCrossway2 が自動で立ち上がり、着信画面に切り替わります。

6.8 コールバック発信の操作方法

6.8.1 概要

「コールバック発信」「コールバック発信番号の登録」「コールバック発信番号の確認」を以下の特番操作によって行うことができます。

コールバック発信をご利用の場合は、「コールバック発信番号の登録」を行ってください。

特番名	特番(初期値)	説明	備考
コールバック発信特番	#*1	コールバック発信特番を付与することによ	「コールバック発信(プレ
(コールバック発信)		りコールバック発信を行うことができます。	フィックス自動付与)」も
			しくは「iCrossway 発信」
		例:#*100353531111	を発信時に選択できるク
			イックメニューより発信す
			ることができます。
コールバック登録特番	#*2	コールバック登録特番を付与し、発信操作	-
(コールバック発信番号		を行うことにより、コールバック着信番号の	
の登録)		登録および削除を行うことができます。	
		(登録)例:#*2008011112222	
		(削除)例:#*2	
コールバック確認特番	#*3	コールバック確認特番を発信することによ	-
(コールバック発信番号		り、コールバック着信番号の登録番号を確	
の確認)		認することができます。	
		例:#*3	

6.8.2 設定

コールバック発信特番を自動で付与したい場合に、以下の手順で設定します。 1 環境設定画面で、コールバック発信を使用の設定をオンにします。

動作の設定	
着信設定	
着信音	
着信音選択	
バイブレータ	
コールバック発信	
コールバック発信を使用	
コールバック特番 #*1	
ダイヤルプラン設定	
音声オプション設定	
自動アプリ起動設定	
ログ送信	

2 コールバック特番に、コールバック発信特番(初期値:#*1)が入力されていることを確認します。 ※ダイアルプランの設定により自動で 0 発信をご利用の場合、ダイアルプランが有効になるため、コールバック発信 特番のみ入力してください。

6.8.4 ダイアルパッドからの発信

1 タブバーの「電話」をタップして、ダイアル画面を表示します。



2 ダイアル画面に、クイックメニューボタンが表示されていることを確認します。



3 画面面上に表示されるダイアルパッドを使って、電話番号を入力し、コールバックボタンをタップします。



4 着信画面で、トーキ(「コールバック発信を開始します。切断ボタンを押してください。」を確認後、切断ボタンを押します。



5 登録したコールバック発信番号に着信するため、応答します。



6 トーキ(「相手を呼び出しています。保留音のまましばらくお待ちください。」)を確認後、保留状態になります。保留音の まましばらく待つと、相手との通話が開始されます。



6.8.5 連絡先からの発信

- 1 スマートフォン標準の電話帳が起動しますので、発信したい連絡先をタップします。連絡先からの発信方法は、1.1 章 を参照してください。
- 2 「コールバック」ボタンをタップすると、コールバック発信が開始されます。



6.8.6 履歴からの発信

1 電話番号のセルをタップします。履歴からの発信方法は、6.4 章を参照してください。



2 ポップアップ画面が表示されるため、コールバック発信をタップすると、コールバック発信が開始されます。



7章 ヘルプ

7.1 ヘルプ

簡単なヘルプを掲載しています。

1 設定画面上で、「ヘルプ」をタップします。



2 pdf ファイルが開きます。アプリケーションを選択する画面が表示される場合は任意のアプリケーションを選択してください。

7.2 アプリについて

iCrossway2のバージョン情報などを掲載しています。

1 設定画面上で、「アプリについて」をタップします。

	設定	
	ユーザの設定	
¥	動作の設定	
0	ヘルプ	
0	アプリについて)
ç		

2 概要画面が開きます。



8章 よくあるトラブルと対処法

アカウントの登録に失敗する

インターネットに接続できることを確認してください。
 アカウントのユーザー名、パスワード、ドメインが正しく設定されていることを確認してください。

通話ができない

- しばらくたってからかけなおしてください。

9章 注意事項

制約事項 モバイル内線アダプタとの接続に関する制約事項を示します。 iCrossway2 については、Android 版 iPhone 版共通の制約事項を示します。

- モバイル内線アダプタについて
- く各主装置共通>
 - 映像通話や高音質通話には対応していません。
 - 主装置の種類や構成によっては、モバイル内線アダプタの WAN ポートの栓をはずして使用してください。
 - モバイル内線アダプタ1台につき、最大同時接続数は「4」です。
 発信中や着信中も接続数にカウントします。また、転送処理中は、接続数が「2」とカウントします。5つ以降の接続は、BTとなります。

具体的には以下のような動作となります。

◆ 同時に4通話実施しているときには、転送が行えません。※

◇ 放送着信の場合、最大4端末まで着信可能です。この場合、他の端末からの接続はできません。※ ※オフィスゲートウェイ収容の場合、転送および放送着信はできません。

- 以下の番号は規制しているため、内線番号として利用できません。
 - ◇ x110、x118、x119(xは0~9の任意の数字1桁)
 - ♦ 184110、184118、184119、186110、186118、186119
 - ◇ x184110、x184118、x184119、x186110、x186118、x186119(xは0~9の任意の数字1桁)
- 無線 LAN の接続対象はフレッツ・スポットのみです。フレッツ・スポットを利用する場合、光ポータブル/光ポータ ブル LTE が必要となります。
- ファームウェアの自動アップデートと、手動アップデートまたはローカルファイルアップデートの実行が重なった場合、先に実行されたプロセスが有効となり、後から実行されたプロセスは失敗します。
- 発信先電話番号(特番含む)に入力可能な文字は、0~9の半角数字、記号(*、#)です。
- 「保留」・「保留解除」を連続で行うと、主装置側から通話が切断されます。被保留中に対向端末を保留しないで ください。また、被保留中に保留側の端末を転送しないでください。
- モバイル内線アダプタを、現在接続している主装置から別の種類の主装置へ接続しなおす場合(例えばαNX typeL からαNX typeM へ、オフィスゲートウェイから BX II ME へなど)には、モバイル内線アダプタを初期化してください。

[留意事項]

- スマートフォンのデータ通信(ベストエフォート)機能を使用して、音声通話のサービスを提供する装置のため、 以下のような状況では、通話品質に影響が出る場合や、通話できない場合があります。
 - ◆ スマートフォン端末機器が高負荷のとき。
 - ◆ モバイル内線アダプタを接続する HUB に多量のデータ通信が発生した場合。

- ◇ 移動体ネットワーク(3G ネットワークおよび LTE ネットワーク)が混雑、または接続状態が不安定な場合。
- ◇ インターネット(PPPoE)が混雑、または接続状態が不安定な場合。
- 具体的には、以下のような事象が出る場合があります。
- ◆ 遅延、音切れが発生し、正常に通話ができないことがあります。
- ◆ 通話開始直後に遅延が一時的に大きくなる場合や、雑音が聞こえる可能性があります。
- ◆ 着信(放送着信)時に圏外転送となる場合があります。※
- ◆ 転送呼出を行った際に、転送先にて数秒で不在着信と表示されることがあります。※

※オフィスゲートウェイ収容の場合、転送および放送着信はできません。

$< \alpha NX/\alpha NX II システム、BX II ME システム収容の場合>$

 主装置によっては、第二呼通話状態で第二呼の発側もしくは着側から保留操作をした場合、被保留側で保留 音を聴取できません。

<オフィスゲートウェイ収容の場合>

- VoIP クライアント同士の内線通話は対応していません。
 VoIP クライアントからオフィスゲートウェイに直収される IP 電話機への内線番号での発信は、通話可能ですが 対応していません。VoIP クライアントからオフィスゲートウェイの回線ポート(アナログ/ISDN)に収容される端末 への内線番号での発信は、エラーとなります。オフィスゲートウェイ直収の IP 電話機から VoIP クライアントへの 内線発信は、エラーとなります。
 すべて外線番号(0AB-J 番号)を用いた外線経由の通話を推奨しています。
- 9个C外稼奋亏(UAD-J 奋亏)を用いた外稼牲田の通話を推突していま
- 転送は対応していません。第二呼への発信はエラーとなります。
- VolP クライアントへの一斉着信は対応していません。
- OCN.PhoneOffice、XePhion コール Pro+使用時は、オフィスゲートウェイにモバイル内線アダプタを収容することができません。
- グループダイヤリング機能を利用した発着信は対応していません。
- モバイル内線アダプタに収容する VoIP クライアントは、オフィスゲートウェイに収容されている外線番号と1対1 に結びつける必要があります。
- VoIP クライアントの数は、ひかり電話の登録番号数をこえることはできません。
 複数台のモバイル内線アダプタを使用する場合、IP アドレス、各ポート番号は重複しないように設定する必要があります。(出荷状態では、同じ IP アドレス・ポート番号が設定されています)
- モバイル内線アダプタの LAN ポートは、オフィスゲートウェイの DHCP で IP アドレスを割り当てる必要があります。その場合、モバイル内線アダプタの WAN ポートは常に有効になり、IP アドレスは 192.168.200.40(固定)となります。
- オフィスゲートウェイからモバイル内線アダプタに割り当てられる内線番号は自動割り当てであり、指定することはできません。

■ VolP クライアント(iCrossway2)について

- く各主装置共通>
 - iCrossway2 マニュアルに記載している以外の設定変更は推奨しません。変更すると通話ができない、通話が 乱れるなどの事象が発生する場合があります。
 - 他の VoIP アプリ(LINE など)を同時に起動して使用する場合の iCrossway2 の動作は保障いたしません。
 - iCrossway2のログイン時に必要なアカウントは1アカウント1端末で使用してください。
 - SIP アカウントは1端末につき1アカウントのみ登録可能となっていますが。複数のアカウント同時にログインする ことはできません。
 - 呼処理と関係ない SIP メッセージが送信されることがありますが、通話には影響はありません。
 - VoIP クライアント端末から、ダイアル操作での主装置の設定変更はできません。
 - スマートフォンにおける移動体データ通信/Wi-Fi(フレッツスポット)間のハンドオーバは対応していません。また、 Wi-Fi(フレッツスポット)のアクセスポイント間のハンドオーバにも対応していません。
 - VoIP クライアントを Wi-Fi(フレッツスポット) 収容から移動体ネットワーク経由の接続に切り替える際には、 iCrossway2の再起動を行ってください。
 - iCrossway2 通話時に 3G 着信に応答した場合、iCrossway2 通話の呼が切断される場合があります。

[留意事項]

- スマートフォン端末によっては、以下のような動作になります。
 - ◆ 通話時の音量が小さい。
 - ◆ 通話のたびもしくはスマートフォンの起動時などに音量設定が初期状態(音量が小さい状態)に戻る。
 上記の場合、適切な音量に設定する必要があります。

- スマートフォン端末によっては、発側と着側、両者間で同時に通話する場合、相手通話が途切れる事があります。
- スマートフォン端末によっては、画面の解像度、フォントによって、画面上の表示が切れたり、マニュアルどおりに 表示されない場合があります。

$< \alpha NX / \alpha NX I システム, BX I ME システム 収容の場合>$

- 第2呼への発信を伴わない応答前転送には対応していません。
- 主装置によっては、呼出状態転送には、対応していません。対応ができている主装置でも、通話呼の発信側で キャンセルできません。
- 主装置によっては、第二呼へ発信した際相手が応答する前に通話をキャンセルして第一呼へ戻る場合は、切断ボタンを押下してください。通話に戻ります。
- 主装置によっては、第二呼を保留しても被保留側では保留音を聴取しません。しかし、保留・保留解除の操作 は可能です。
- 保留中の iCrossway2 が圏外へ移動した場合、タイミングによっては被保留側で保留音が止まらず、通話状態が自動的に終わらない可能性があります。その場合は、被保留から通話を切断してください。
- 応答後転送の転送ボタン押下と転送先の切断ボタン押下がほぼ同時に押された場合、第一呼に戻った状態で
 呼び返しが来ることがあります。その場合、第一呼を切断すれば全セッション切断されます。
- 主装置によっては、番号掛け間違い等で転送失敗した場合、保留解除を行なわないと転送は失敗しつづけま す。その場合は、保留解除を行い、再度保留後に転送を行なってください。

<オフィスゲートウェイ収容の場合>

- 災害用伝言ダイアルなどの音声ガイドかつキー入力を必要とする一部のサービスでは、iCrossway2 は以下の ような動作となります
 - ◆ Android 版の場合、画面上に「発信中」と表示され、キーパッドボタンをタップすると「通話中の場合のみ有 効です」というメッセージが表示されて、DTMFの入力ができません。
 - ◇ iPhone 版の場合、画面上に「呼び出し中」と表示されるが、キーパッドボタンをタップすると DTMF の入力 が可能です。

$< \alpha NX / \alpha NX II システム TypeL の場合>$

• コールバック発信の際、第二呼発信時の接続先端末状態により以下のような事象が発生します。

自端末 接続ネッ トワーク	接続 先回 線	接続先 端末状態	事象
NTT	外線	話中	主装置からの着信応答後、
docomo		着信拒否	保留音を最大 30 秒程度聴
		圈外	取したタイミングで、第一呼
au			が切断される。場合によっ
			ては、iCrossway2に呼び返
Softbank			しの着信が1件残る(*1)。
		番号誤り	保留状態が 30 秒ほど継続
			し、その後、第一呼が切断さ
			れる。
	内線	話中	保留状態が 30 秒ほど継続
			し、その後、第一呼が切断さ
			れる。
		着信拒否	主装置からの着信応答後、
		圈外	保留音を最大 30 秒程度聴
			取したタイミングで、第一呼
			が切断される。場合によっ
			ては、iCrossway2に呼び返
			しの着信が1件残る(*1)。
		番号誤り	保留状態が 30 秒ほど継続
			し、その後、第一呼が切断さ
			れる。

(*1) コールバック登録端末がコールバック発信を行った iCrossway2 登録端末でない場合、iCrossway2 登録端末が鳴動します。応答すると iCrossway2 登録端末とコールバック登録端末で通話が確立します。

■ 3G割込について

- スマートフォンにおける移動体通信の電話機能とiCrossway2の競合は表 1、表 2のような動作となります。
 - ◇ iCrossway2の発信中および保留中に 3G/LTE 発信をしないでください。
 - ◇ iCrossway2 被保留中に 3G/LTE 着信応答しないでください。
 - ◇ iCrossway2の保留中に 3G/LTE 着信に応答した場合、必ず 3G/LTE 通話を終了してから iCrossway2 の通話に戻ってください。
 - ◇ iCrossway2 で転送相手と通話中は、3G/LTE 着信に応答しないでください。
 - ◇ iCrossway2 通話中に 3G/LTE 着信をした場合、電話口から通知音を聴取するが、端末及び端末設定に よっては 3G/LTE 着信通知音が聞こえづらい場合があります。

	iCrossway2	iCrossway2	iCrossway2
状態	発信	着信	通話
3G/LTE 発信中	0	0	0
3G/LTE 着信中	0	0	0
3G/LTE 通話中	0	0	0

表 1 移動体通信とiCrossway2の競合-1

0	3G/LTE 通話(発信、着信含む)が継続される
\triangle	3G/LTE 通話(発信、着信含む)が一定時間後に切断
	される
×	3G/LTE 通話(発信、着信含む)が切断される

表 2 移動体通信とiCrossway2の競合-2

イベント 状態	3G/LTE 発信	3G/LTE 着信	3G/LTE 通話
iCrossway2	Android $ imes$	Android 🔾	Android $ imes$
発信中	iPhone \times	iPhone \times	iPhone \times
iCrossway2	Android $ imes$	Android 🔾	Android $ imes$
着信中	iPhone \times	iPhone \times	iPhone \times
iCrossway2 通話中	Δ	Δ	Δ
iCrossway2 保留中	Δ	Δ	Δ
iCrossway2 被保留中	Δ	Δ	Δ

0	iCrossway2 通話(発信、着信含む)が継続される
\triangle	iCrossway2 通話(発信、着信含む)が一定時間後に切
	断される場合がある
×	iCrossway2 通話(発信、着信含む)が切断される

▶ その他

- 本アプリケーションは大量のパケット通信を行います。従量課金制の3G/LTE回線にてご利用された場合は、高額な通信料金が発生する恐れがありますので、注意してください。
- 各端末によって、表示に若干の誤差が生じますので、ご了承ください。
- スマートフォンに設定したフォントや文字サイズによっては、文字が切れたり表示がはみだしたりすることがあります。
- 電波状況の悪い場合、音声が乱れたり、遅延が大きくなることがあります。
- ログインが完了しない状態でアプリケーションを終了させないでください。着信時に鳴動が止まらないという現象 が起きる可能性があります。
- 着信後即切断を行うと、不在着信履歴が残る場合があります。
- スリープ状態で着信、着信のキャンセルが行われると、通話画面が残る場合があります。問題が発生した場合は、アプリケーションを再起動してください。
- 通話時の音量が小さい場合があります。端末の音量ボタンを操作して、適切な音量に設定してください。また、
 通話の度もしくはスマートフォンの起動時に音量設定が初期状態(音量が小さい状態)に戻る場合があるため、
 その際は再度適切な音量に設定してください。
- スマートフォンの機種変更時には、古い端末から iCrosswa2 をアンインストールしてから、新しい端末にインスト ールしてください。
- 利用キャリアにより、着信時圏内にいるにもかかわらず、誤って圏外動作が作動する場合がございます。
 誤動作を回避するために、自身が圏外移動する場合は、事前にアカウント設定画面からログオフを行ってください。

©2017 NTT テクノクロス株式会社 All rights reserved.

●許可無く、複写、複製、改変することを禁じます。